

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 2 部門第 4 区分
【発行日】令和 4 年 12 月 9 日(2022.12.9)

【公開番号】特開 2021-74979(P2021-74979A)
【公開日】令和 3 年 5 月 20 日(2021.5.20)
【年通号数】公開・登録公報 2021-023
【出願番号】特願 2019-204057(P2019-204057)
【国際特許分類】

B 4 1 J 2/01(2006.01)

10

【F I】

B 4 1 J 2/01 3 0 1

B 4 1 J 2/01 3 0 3

B 4 1 J 2/01 3 0 5

B 4 1 J 2/01 4 0 1

【手続補正書】

【提出日】令和 4 年 12 月 1 日(2022.12.1)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

20

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

記録媒体を第 1 方向に搬送する搬送ローラーと、
前記搬送ローラーを駆動するモーターと、
記録ヘッドを搭載して前記第 1 方向と交差する第 2 方向に移動可能なキャリッジと、
前記キャリッジへのアクセスを可能にする開放状態と、前記キャリッジを被覆する被覆
状態と、に開閉するカバーと、
前記キャリッジが所定領域に進入すると前記モーターからの駆動力を選択的に他のユニ
ットに伝達可能な駆動切替機構と、
前記カバーが前記開放状態のときに前記キャリッジが前記所定領域に進入することを規
制する規制部材と、
を有することを特徴とする、記録装置。

30

【請求項 2】

前記規制部材は、前記カバーが前記開放状態のときに前記キャリッジの移動経路に突出す
ることを特徴とする請求項 1 に記載の記録装置。

【請求項 3】

前記所定領域は、前記記録ヘッドから前記記録媒体に記録を行う記録領域の外側であるこ
とを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の記録装置。

40

【請求項 4】

前記規制部材は、前記カバーが前記被覆状態のとき前記キャリッジの移動経路から退避す
ることを特徴とする請求項 1 乃至 3 のいずれか 1 項に記載の記録装置。

【請求項 5】

前記カバーの開閉と連動するカム部と、
前記カム部と係合可能に設けられ前記カバーが前記被覆状態のときに前記規制部材を前記
移動経路から退避する方向に動かすカムフォロワー部と、
を有することを特徴とする請求項 4 に記載の記録装置。

【請求項 6】

50

前記カバーの開閉状態を検知する検知手段を備えることを特徴とする請求項 1 乃至 5 のいずれか 1 項に記載の記録装置。

【請求項 7】

前記検知手段が前記カバーの前記開放状態を検知した場合に前記キャリッジの移動経路に対して前記規制部材を突出させる駆動部を有することを特徴とする請求項 6 に記載の記録装置。

【請求項 8】

前記他のユニットは、給紙ユニットから前記搬送ローラーへ前記記録媒体を給紙する給紙ローラーであることを特徴とする請求項 1 乃至 7 のいずれか 1 項に記載の記録装置。

【請求項 9】

前記他のユニットは、前記記録ヘッドのメンテナンスを行うメンテナンスユニットであることを特徴とする請求項 1 乃至 7 のいずれか 1 項に記載の記録装置。

【請求項 10】

前記メンテナンスユニットは、前記記録ヘッドの吐出面をワイピングするワイパを含むことを特徴とする請求項 9 に記載の記録装置。

【請求項 11】

前記メンテナンスユニットは、前記記録ヘッドの吐出面をキャッピングするキャップを含むことを特徴とする請求項 9 または 10 に記載の記録装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

本発明の記録装置は、記録媒体を第 1 方向に搬送する搬送ローラーと、搬送ローラーを駆動するモーターと、記録ヘッドを搭載して第 1 方向と交差する第 2 方向に移動可能なキャリッジと、キャリッジへのアクセスを可能にする開放状態と、キャリッジを被覆する被覆状態と、に開閉するカバーと、キャリッジが所定領域に進入するとモーターからの駆動力を選択的に他のユニットに伝達可能な駆動切替機構と、カバーが開放状態のときにキャリッジが所定領域に進入することを規制する規制部材と、を有することを特徴とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本発明によれば、記録装置のカバーが開いた状態では、駆動切替機構を動作させる位置までキャリッジが移動することが規制部材によって規制されるので、ユーザーによってキャリッジが動かされた場合であっても駆動伝達先が意図せずに切り替わることを防ぐことができる。

10

20

30

40

50